

地域から学び、地域に貢献する！ 「おかやま創生 高校パワーアップ事業」

県教育委員会では地域の課題やニーズを踏まえ、おかやま創生を担う人材の育成や、地域の活性化に貢献する県立高校の魅力化を図る「おかやま創生 高校パワーアップ事業」を行っています。

この事業に取り組み、地域の魅力を生かした学びを展開する県立高校を紹介します！

瀬戸南高校 グローバル市場を目指す 「攻めの農業経営」人材の育成

農産物を生産するだけでなく加工して販売する農業の6次産業化によって、グローバル市場を目指す「攻めの農業経営」に取り組み、将来地方創生を担う人材を育成しています。

具体的には、ビジネスプランの作成、商品開発による瀬戸南ブランド確立への挑戦、模擬会社の設立などを通じて農業における6次産業化の可能性を学んでいます。また、海外マーケットの現状や事例を学び、新たな農業ビジネスの可能性について深く勉強しています。



真庭高校 森林資源等を活用した まちづくりを担う人材の育成

真庭市や地域住民組織と連携した探究活動を行っています。

その活動の一つに再生可能な生物資源を活用している真庭市でのバイオマスツアーがあります。津黒いきものふれあいの里では薪割り・笹刈り、クワイト菅谷では伐倒木の皮むき・ヒノキ茶づくり・小水力発電キット体験学習を行い、真庭バイオマス発電所や生ゴミの液肥化プラントの視察を行います。バイオマスタウン真庭を深く理解し、地域に貢献する生徒を育てます。



鴨方高校 産官学連携による環境保全活動を通じた地域貢献人材の育成

地域の方々からの「ありがとう」の言葉が、生徒の励みとなっています。鴨方高校では、ボランティア活動に年間延べ1,000名を超える生徒が参加しています。

現在、「あさくち山環学」として、地域の産官学と連携して、環境保全や地域活性化の取組を行っています。今年度から開講した授業「地域創生学」では、3年生が5つの系列（人文社会・福祉生活・芸術・ビジネス情報・自然科学）に分かれて地域の諸課題を解決する学習を展開しています。



勝間田高校 木材資源を活用した 地域振興を担う人材の育成

県内で唯一演習林を活用して林業を学ぶことができる勝間田高校では、日本を代表する木材「美作ヒノキ」を活用し、学科や系列・類型が連携して「美作ヒノキ」のブランド化を進めるため、ヒノキ枕などの商品開発やPR活動、バイオマスエネルギーの活用、森林を活用したワサビ栽培やワサビアイスなどの特産品開発に取り組んでいます。

地域の人材や組織と密接なつながりを持ちながら、地域の活性化と地域振興を担う人材の育成を目指して頑張っています。



これら4校の他に、以下の5校でも、地域と連携した特色ある教育内容づくりに取り組んでいます。

井原高校

新見高校

邑久高校

勝山高校

林野高校